

各位

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社

“CSR”防災食で「フードバンク」活動を支援

伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長 長田 邦裕）は2016年1月23日、24日に、防災食をセカンドハーベスト・ジャパン（NPO）に寄贈しましたのでお知らせいたします。

当社では、災害時の備蓄食料である保存水約3,600リットル・非常食約2,100食分を、セカンドハーベスト・ジャパンを通して、被災地や生活困窮者へ寄贈しました。セカンドハーベスト・ジャパンは「フードバンク活動」等を行っており、この活動によって食べ物を必要とする福祉施設等へ届けられます。また、食品ロスの削減、施設の食費節約等が実現できる社会福祉活動です。

当社では、今後もCSRの取り組みとして、このような社会貢献活動へ積極的に参加してまいります。



備蓄している食料



寄贈のため積荷

セカンドハーベスト・ジャパンとは…

「すでに収穫された畑から二度目の収穫をする」という考え方から、「もったいない」を「ありがとう」へ。市場に出すことはできなくとも、人々が消費するには十分な安全性をもった食品を捨てずに活かす代替案「フードバンク」活動等を行っています。

※賞味期限を過ぎたものは一切取扱いされません。

（セカンドハーベスト・ジャパンのホームページより抜粋）